



## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ウイズ

コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横井 昭裕

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 大関 浩一

TEL 03-3663-7677

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	281	△38.1	△120	—	△118	—	△120	—
23年5月期第1四半期	455	△16.8	△96	—	△92	—	△93	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △121百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△3,897.95	—
23年5月期第1四半期	△3,042.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	2,511	1,449	57.7
23年5月期	2,664	1,571	59.0

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 1,449百万円 23年5月期 1,571百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	3.7	△26	—	△27	—	△29	—	△941.07
通期	3,200	27.8	100	—	100	—	96	—	3,115.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期1Q	30,816 株	23年5月期	30,816 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期1Q	— 株	23年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期1Q	30,816 株	23年5月期1Q	30,816 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意事項)

本資料に記載されている業績見通し等、将来に関する記述は、現在、当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の甚大なる被害の影響によるサプライチェーンの混乱及び消費者の自粛ムードが、復興需要の発生及び製造業を中心とした生産活動の正常化により、徐々に底打ち感を見せ始めてきました。しかしながら、大幅な円高及びデフレ基調は継続しており、加えて雇用状況及び所得環境において大幅な改善は見られず、低調なまま推移しました。

このような状況のもと、玩具業界は、一部の人気キャラクター関連商品の販売等が好調であったため、業界全体の売上高は前年対比で増加しているものの、業界関連企業の多くは厳しい状態にあります。

当社グループは、厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減及び基幹事業であるOEM製品販売に経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するために事業を推進します。あわせて、オリジナル商品販売及び海外販売の基盤の確立を目指しております。

OEM製品販売におきましては、前連結会計年度より発売しております「Tamagotchi iD L (たまごっちアイディーエル)」シリーズ製品は、当第1四半期連結累計期間においても堅調な販売が続いております。しかしながら、新製品等の販売を含め、当該製品シリーズ以外の納品予定が、当初より少なかったため、前年同期比で売上高は減少しております。

また、オリジナル商品販売は、引き続き堅調な販売を継続しております「東京スカイツリー (R) バンク634」のほか、一部スポット商品を発売し、前年同期の売上高を下回るものの、海外販売分を含め概ね予想通りに推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2億81百万円（前年同期比38.1%減）となりました。なお、当該売上高は、全ておもちゃ事業におけるものであります。

利益面においては、営業損失は1億20百万円（前年同期は96百万円の営業損失）、経常損失は1億18百万円（前年同期は92百万円の経常損失）、四半期純損失は1億20百万円（前年同期は93百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億53百万円減少し、25億11百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加59百万円、商品及び製品の増加25百万円、原材料及び貯蔵品の増加24百万円、仕掛品の増加17百万円があった反面、受取手形及び売掛金が2億88百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ31百万円減少し、10億62百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加28百万円があった反面、長期借入金が61百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億21百万円減少し、14億49百万円となりました。これは、主に当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少1億20百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しており、平成23年7月7日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても営業損失1億20百万円、経常損失1億18百万円、四半期純損失1億20百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度まで4期連続してマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

#### ① 売上高の拡大

当連結会計年度は大手玩具メーカーを中心としたOEM製品販売について、更に経営資源を集中し、売上高の拡大を図ってまいります。具体的には、当社の主力安定商材である製品シリーズについては、それぞれ専門のチームを構成する等、組織体の再構築を始めとした諸施策をおこなっております。

#### ② 固定費の削減

前連結会計年度以前に終了した希望退職者の募集等を含むリストラクチャリングの結果、固定費の大幅な削減が実現しております。当連結会計年度におきましても、引き続き削減を実施し、更にスリム化した固定費で事業を継続することが可能となっております。

なお、前連結会計年度の業績を受け、平成23年6月より役員報酬の減額を実施しております。

#### ③ 資金繰りへの対応

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましても、前記①②の施策により改善が見込まれ、十分なキャッシュを確保できる見込みであります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における業績は概ね予定どおりに推移しており、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,468	1,330,545
受取手形及び売掛金	551,354	263,266
商品及び製品	29,726	55,483
仕掛品	21,111	38,890
原材料及び貯蔵品	56,886	81,197
その他	32,076	38,240
流動資産合計	1,962,623	1,807,622
固定資産		
有形固定資産	19,964	20,592
無形固定資産	3,532	3,665
投資その他の資産		
投資有価証券	517,153	517,530
その他	161,616	162,405
投資その他の資産合計	678,769	679,935
固定資産合計	702,266	704,193
資産合計	2,664,890	2,511,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,357	104,561
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	215,860	227,860
賞与引当金	—	11,180
その他	70,942	47,768
流動負債合計	463,160	491,371
固定負債		
長期借入金	306,500	244,535
退職給付引当金	55,408	58,100
長期未払金	265,526	265,526
その他	3,081	2,766
固定負債合計	630,517	570,929
負債合計	1,093,677	1,062,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	439,691	319,572
株主資本合計	1,582,361	1,462,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64	△190
為替換算調整勘定	△11,084	△12,536
その他の包括利益累計額合計	△11,148	△12,726
純資産合計	1,571,213	1,449,515
負債純資産合計	2,664,890	2,511,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	455,649	281,932
売上原価	293,603	174,326
売上総利益	162,046	107,605
販売費及び一般管理費	258,221	227,977
営業損失(△)	△96,175	△120,371
営業外収益		
受取利息	100	77
受取配当金	1,752	407
為替差益	3,817	1,998
持分法による投資利益	—	503
その他	32	1,014
営業外収益合計	5,702	4,001
営業外費用		
支払利息	1,300	2,512
持分法による投資損失	358	—
営業外費用合計	1,658	2,512
経常損失(△)	△92,130	△118,883
特別損失		
事務所移転費用	—	1,500
特別損失合計	—	1,500
税金等調整前四半期純損失(△)	△92,130	△120,383
法人税等	1,640	△263
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△93,771	△120,119
四半期純損失(△)	△93,771	△120,119

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△93,771	△120,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,147	△126
為替換算調整勘定	△2,100	△1,451
その他の包括利益合計	△5,247	△1,577
四半期包括利益	△99,019	△121,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,019	△121,697
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成23年6月1日 至平成23年8月31日）

当社グループは、報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。